

武蔵野から巻を読むへ

「森」と名がいた本を手当たり次第に探してみると…… 赤坂憲雄 14

『民権論の白紙』から『源氏物語』へ
想像の補助線を手に入れて王朝絵巻を読む…… 秋尾沙戸子 18

『経済の船出』から『トラウマ』の著作集へ
タロットを微妙にずらす。これが私の「読書のしりとり」…… 石井清蔵 22

『素戔嗚尊』から『寛き介民政治』へ
なぜ「似たようなタイトルの本」は面白くなかったのか…… 石黒格 26

『権力者』で「世界を語る」から『権と権力』へ
八四歳の書生が教えてくれたロングセラー…… 石橋政史 30

「一冊目を読んでいなければ「成功者の本」と思ったかもしれない」
和泉法夫
名刺を添えつけた問題から『承継』へ
「長文読解」の課題に苦づけられ、私はすぐに本屋に行った…… 磯辺麻子 34

「これはではない」から『ほくは数学と哲学が好きだ』へ
二年後、好きだった本の続編が家に届いた…… 磯部涼 38

聞き書き集の意匠から『宮本常一講演集』へ
専門図書館で教えてもらった。心が熱くなる柿の木の話…… 井上理津子 42

『銀の靴』の『SOS』から『里山本編』へ
「あの人のホンネを知りたい」好奇心が引き合わせてくれた本…… 牛穂恵 46

『夜と霧』から『そして人生にイエス』までへ
陸前高田の読書会にて…… 歌代幸子 50

川釣りから『11アイトル』へ
キーワードは「自分の居場所の探し方」…… 梅本克 54

『文明の進歩』から『地上の土星』へ
彼らは友人同士だった…… 江坂彰 58

『愛と幻のファンタジー』から『EV-Gate 超次元』へ
同じ著者の本を読んでいるうちに自分の悩みの名を知った…… 江渡浩一郎 62

『小説の行方』から『野の本編』へ
高校時代、就職時、支店長時代。三度読んだ城山作品…… 遠藤勝裕 70

『謎』から『東京プリズン』へ
気がなった本を読んだところ「通じるところ」に気がついた…… 円堂郡司昭 74

『ポロコちゃんからワツクの音』へ
本棚が緑色に染まるころ。新たな楽しみ方を知った…… 大河原克行 78

『第五部の超絶舞妓』から『寄席特選』へ
やはり読んでおかねば「忠臣蔵」の背景にあるあの囁…… 大場潤一 82

『聖徳太子』から『天竺一帯』へ
独立に必要だった「何が書いてあるかさっぱりわからない本」…… 大原通朗 86

『下すのハイレーン』から『イギリス海軍史』へ
続けて読んだのは語呂の問題にすぎなかったが…… 小笠原博毅 90

『未来をくぐる国書』から『本の虫』へ
自分一人の視点だけでなく、いろんなかたちを知りたくて…… 岡野裕行 94

『重と飛た特長』から『ソ連が満洲に侵攻した』へ
読んだら知らなくった。どのように生きて死んだのかを…… 岡本貴也 98

『対』の物語。『タイトル』で運命の冊しわかった…… 奥野直之 102

『シンボリック・オーストラリア』から『読書家の新技術』へ
憧れた「愉快な大人たち」。そこにいた未知の人物…… オバタカズキ 106

『わらしちよび』から『ストーリー』としての競争書庫へ
衰かすための絵本が経営の本につながる理由…… 甲斐真樹 110

『世紀末の作法』から『東で上野動物園を学ぶ』へ
はじめの本は「一切読まなかった。だが「戦時時代の連載が…… 閉沼博 114

『雑誌』から『林原』へ
二冊の本を読む。「現実」は「二つ」という常識が変わる…… 加護野忠男 118

『ペンペン子』からの文化史から『カラスの面』へ
思想家が語り、作家が書く「謎の捨て子」の物語…… 柏木博 122

『沈痛と閉塞の思いで手にした本は……』
『魂の王』から『漂流教団』へ
二つの物語が重なったとき、一七歳の僕は希望を見つけた…… 鎌田慧 126

『日本の文学』川柳集から『いのちの初夜』へ
記憶をたどる途中で知った二人の関係…… 北沢夏音 130

『聖の王子さま』から『著者のヒストリー』へ
何年も経った後、突然結びつく…… 切通理作 134

『経典』から『チャイナ』へ
『文庫目録』が開いてくれた小説の扉…… 楠木誠一郎 138

『東北の海軍』『海軍の歴史』から『つばき』へ
あつ、この間マスターが話していた漫画家の本だ…… 古閑良行 142

『幻術師』から『深夜の闇』へ
「翻訳者」とその弟子「異端志向」の案内人たち…… 小西昌幸 146

『聖と無常』から『ティール』へ
後に無事に気づいた。同じ頃に出た本の著者と…… 小橋昭彦 150

『聖徳太子』から『聖徳太子』へ
その人に出会い、那覇の書店で買った…… 小林照幸 154

『ロンドン』から『親切大使』へ
翻訳家は「親切な大使」なのです…… 佐々木大輔 158

『世界の歴史』年表から『ローマの物語』から『ハルビ』へ
世界史に興味を持った僕は三巻から読み始めた…… 設楽陸 162

『るるる』から『黄色い本』へ
そんなふうに気をつけていると本の情報は目に飛び込んでくる…… 柴野京子 170

『レスター』から『五の石』へ
戦争マンガを描こうとして、授業をさぼって読んだけれど…… すがやみつる 174

『ウツロ』から『ウツロ』へ
著者の生き方と姿勢に興味を持ち、次回作を待つ…… 杉村芳美 178

『神』から『トル』へ
娘たちの手に渡った本は、だれに繋がっていくのだろう…… 鈴木光司 182

『路』から『東海』へ
原動力になったのは本を読んで感じたモチベーション…… 鈴木遥 186

『北極』から『本』へ
受験関係以外の本はほとんど読んでいなかったけれど…… 高嶋哲夫 190

『北極』から『本』へ
似た空気をもつ本がある——「地図」が気づかせてくれたこと…… 高村薫 194

『運』から『運』へ
本のようにならなかに会いたくて…… 高山文彦 198

『方』から『方』へ
最初の本に、自分にとって好都合な隙があったから…… 武田徹 202

『聖徳太子』から『聖徳太子』へ
すべての言葉は、詩になりたいと願っている…… 田坂広志 206

『好きな小説』から『西遊記』へ
好きな作家が出来た…… 立石泰則 210

『本』から『本』へ
眠れない夜のために…… 田中秀臣 214

『ハブ』から『ハブ』へ
男と女、父と母、二冊読むから二倍楽しめる…… 玉岡かおる 218

『無』から『無』へ
多くの資料を読み込み、知っておきたい「心情」があった…… 田村正紀 222

『夜』から『夜』へ
「シリーズ」の大きな存在…… 月村了衛 226

『タウ』から『タウ』へ
危ない、仕事で忙しいのに…… たが、すぐに前作を手についた…… 中野不男 230

『つ』から『つ』へ
たとえば「ジャケ買い」という方法がある…… 永原康史 234

『羊』から『羊』へ
「前段」となる事件「を知ってしまったら」…… 西岡研介 238

『深』から『深』へ
先輩が貸してくれるというので読まないわけにもいかず…… 新田匡央 242

『百年の孤独』から『千年の孤独』へ
タイトルが呼んでいるから…… 古川日出男 286

『改』から『改』へ
改めて読んでみた。なんだか、ほつとした…… 穂村弘 290

『原』から『原』へ
原爆投下後の数日間起きたこと、それを具体的に知るために…… 堀川恵子 294

『原』から『原』へ
我が運命を決めた漫画には「原作小説があった…… 前野ワダ浩太郎 298

『MONKEY JUNGLE』から『青』へ
「謎」に満ちていない青春という謎が知りたくて…… 牧野智和 302

『四』から『四』へ
四〇〇年の時を経て「続編」を生む…… 松原隆一郎 306

『ヨ』から『ヨ』へ
ヨロシの個人主義から人間との契約の…… 三浦展 310

『生』から『生』へ
生協の本棚から一冊同じ著者の本を選んだ…… 水越康介 314

『四』から『四』へ
「ほく」はなぜ最後に「わたし」へと変わっていたのか…… 三田村路子 318

『本』から『本』へ
本を読まなかった僕が、今、音楽を聴くように本を読む…… 宮内恭平 322

『聖』から『聖』へ
しめつとした雰囲気…… 宮内悠介 326

『聖』から『聖』へ
六年後、その本は旅先のハワイで再会した…… 山川徹 330

『ラ』から『ラ』へ
『ラ』から『ラ』へ…… 山田太一 334

『海』から『海』へ
海はどのようにして…… 山本一郎 338

『ニ』から『ニ』へ
それが司令官の愛読書だと知って…… 米倉智 346

『百年の孤独』から『千年の孤独』へ
タイトルが呼んでいるから…… 古川日出男 286

『改』から『改』へ
改めて読んでみた。なんだか、ほつとした…… 穂村弘 290

『原』から『原』へ
原爆投下後の数日間起きたこと、それを具体的に知るために…… 堀川恵子 294

『原』から『原』へ
我が運命を決めた漫画には「原作小説があった…… 前野ワダ浩太郎 298

『MONKEY JUNGLE』から『青』へ
「謎」に満ちていない青春という謎が知りたくて…… 牧野智和 302

『四』から『四』へ
四〇〇年の時を経て「続編」を生む…… 松原隆一郎 306

『ヨ』から『ヨ』へ
ヨロシの個人主義から人間との契約の…… 三浦展 310

『生』から『生』へ
生協の本棚から一冊同じ著者の本を選んだ…… 水越康介 314

『四』から『四』へ
「ほく」はなぜ最後に「わたし」へと変わっていたのか…… 三田村路子 318

『本』から『本』へ
本を読まなかった僕が、今、音楽を聴くように本を読む…… 宮内恭平 322

『聖』から『聖』へ
しめつとした雰囲気…… 宮内悠介 326

『聖』から『聖』へ
六年後、その本は旅先のハワイで再会した…… 山川徹 330

『ラ』から『ラ』へ
『ラ』から『ラ』へ…… 山田太一 334

『海』から『海』へ
海はどのようにして…… 山本一郎 338

『ニ』から『ニ』へ
それが司令官の愛読書だと知って…… 米倉智 346

『この本の使い方』
「この本に出会うきっかけインテックス」…… 350

『人』から『人』へ
書籍・雑誌・新聞索引…… 350

『この本の使い方』
「この本に出会うきっかけインテックス」…… 350

『人』から『人』へ
書籍・雑誌・新聞索引…… 350

『この本の使い方』
「この本に出会うきっかけインテックス」…… 350

『人』から『人』へ
書籍・雑誌・新聞索引…… 350